

今月は
レイチェルです!

エイミー&レイチェルの
ヨモヤマ話



登山の Je ne Sais Quoi



国際交流推進員 レイチェルとエイミー

最近、「レイチェル、いつも登山しているね!何でそんなに好きなの?」とよく聞かれます。実は、これは簡単な答えがありません!

英語でも使われているフランス語で「je ne sais quoi」という表現があります。日本語で、「言葉では言い表せない魅力」という意味です。For me, climbing mountains has a certain je ne sais quoi. It's hard to explain, but I want to try.

去年の大晦日は、鳥取県の大山の頂上にある山小屋で過ごしました。外は吹雪でした。小屋の中で私と初対面の四人の登山者はキャンプストーブで餅を焼きお雑煮を作ったり、ラジオで紅白歌合戦を聞いていました。小屋の中でも気温は-5℃でしたが、本当に暖かい感じがしていました。山に夢中な私たち五人は、ずっとずっと登山について話しました。お気に入りの山や、ベストな登山用品ブランドや、最も重要な「何で登山が好きか」について話しました。

ある一人は、「登山するとき、生きがいを感じる。」と答え、もう一人は「肉体的なチャレンジだから。」と答えました。間もなく、私の順番が来ました。一生懸命考えたのに、簡単な答えが出てきませんでした。精一杯の説明は「山にいる時、何か特別な気持ちに

なります。」だけでした。私と同じように山が大好きな登山者たちには、うなずいて理解してもらえましたが、むつ市の皆さんには詳しく説明したいと思います。

登山とは、もちろん「生きている!」という感じと「肉体的なチャレンジ」という感じがあると思います。頂上に着いて登山口に戻ると、体の疲れを感じながらもものすごい達成感を味わいます!ほんとに「やった!生きている!」って気持ちです。でも、それ以外にも沢山あります。

山の自然や景色も大好きです。奇岩怪石や高山植物や山の動物はいつも見られたら嬉しいです!

不思議な岩や美しいアルパイン花を見たら好奇心が呼び起こされます。実は、以前の登山旅行では、恥ずかしいですが写真を2000枚以上撮っちゃいました!私は自然に囲まれている時、一番嬉しくて穏やかな気持ちになります。けど、それ以外にもまだまだあります!

山の地域は、人間の世界じゃない感じがあると思います。さらに、普通の自然でもありません。頂上の大地は空と接しています。建物が無いし、人間もいません。ナルニア国物語という本を読んだことがありますか? その物語では、魔法のドアを開けた

ら、魔法の世界に行けます。山を登るとき、魔法のドアをゆっくり開けることのような感じです。登山口からずっと高く登ったら、頭が静かになって人間の世界から去ります。頂上に着いて、魔法の世界を眺めます。その感じは、山の je ne sais quai!



福井県荒島山頂上にて

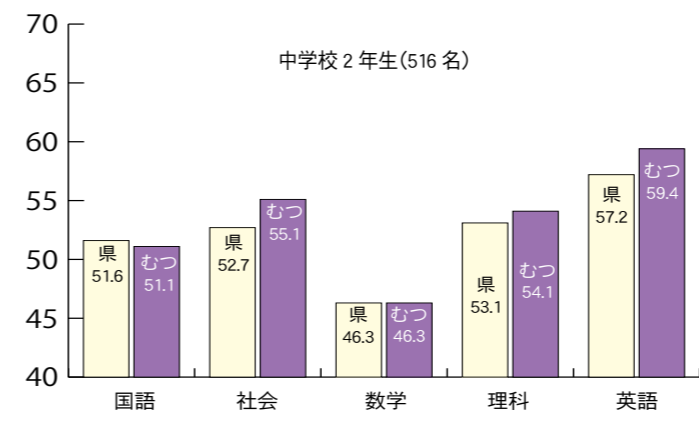
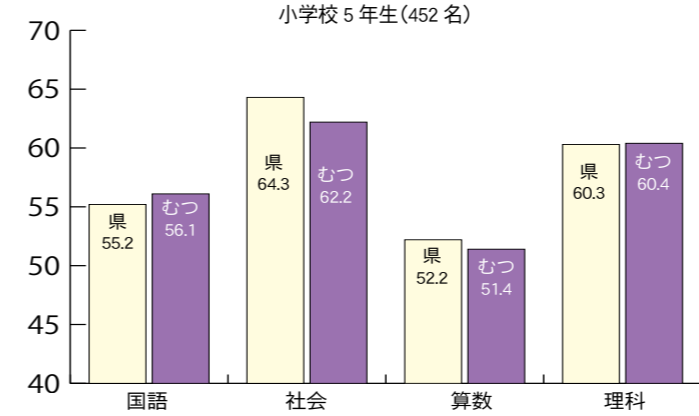
3月レッツ国際交流 エイミーとフリー・トーキング

〈いつ・どこで〉
8日(木)図書館(会議室)
13日(火)公民館(青少年研修室)
19日(月)市役所(第3会議室)
※時間はいずれも午前10時~11時30分

☎ 企画調整課国際交流推進員
☎ 22-1111 内線 2353

調査の結果(県平均通過率との比較)

※県平均通過率=県全体の正答率



〔調査の概要〕
平成29年8月30日(水)実施
実施学年 小学校5年生 13校 452名
中学校2年生 9校 516名
〔調査の内容〕
教科に関する調査
小学校(国語、社会、算数、理科)
中学校(国語、社会、数学、理科、英語)
学習に関する意識や実態の調査

〔結果〕
●小学校5年生
国語と理科の2教科で県平均を上回りましたが、教科全体では、県平均を0.6ポイント下回りました。
●中学校2年生
社会・理科・英語の3教科で県平均を上回りました。
また、教科全体も、県平均を1.0ポイント上回り、県の上位になっています。

〔調査結果から〕
むつ市の小学校5年生は、教科全体では県平均を下回りましたが、昨年度に比べるとその差は縮まりました。(昨年度▲1.2ポイント、今年度▲0.6ポイント)県平均を上回った国語・理科は、思考力・判断力・表現力等を問う「活用」の問題についても好結果でした。社会では、得た情報を活用して自分の言葉で表現する力や、算数では、友達の考え方を理解する力等を中心に高めていく必要があります。
学習に関する意識や実態の調査では、小学校5年生の約9割の児童が「勉強は大切」と回答しました。今後も、児童の努力を認めたり励ましたりしながら学習意欲を二層高めていく必要があります。
中学校2年生は、国語でわずかに県平均を下回りましたが、教科全体では4年連続して県平均を上回りました。中でも社会と英語が県平均を大きく上回りました。(社会+2.4ポイント、英語+2.2ポイント)。
学習に関する意識や実態調査では、約6割の生徒が「短期大学・大学・専門学校への進学を考えている」と回答しました。
今後も生徒が夢や希望に向かって学習に励むことができるよう支援していきます。

☎ 22-1111 内線 3137

平成29年度

青森県学習状況調査の結果

青森県教育委員会が実施する学習状況調査は、県内の小学校5年生および中学校2年生を対象に、平成15年度から行われており、今年度で15回目となります。その結果をお知らせします。

